

市議会だより

編集 議会だより編集委員会

発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

議会構成決まる

平成27年豊明市議会定例会 開会議会(5月15日)



議長 月岡 修一

4月26日執行の統一地方選挙におきまして、私たち20人の議員をお選びいただき感謝申し上げます。そして、その責任の重大さを痛感いたしております。

さて、このたびの開会議会におきまして、議員各位の推挙により議長の重職に選ばれましたことは、身に余る光栄であり、心から感謝申し上げます次第であります。

諸施策の推進にあたり杉浦光男副議長とともに議員各位のご指導とご協力を得て、市政発展のため最大限の努力をいたす所存であります。

市民の皆さまには今後とも一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。



副議長 杉浦 光男

このたび議員各位の推挙により副議長の要職に選ばれましたことは、身に余る光栄であり、その職務の重大さを深く痛感いたしております。

もとより浅学非才ではありますが、月岡修一議長のもと議員各位のご指導とご協力を得て、全力を傾注する所存であります。

市民の皆さまのご指導とご支援を心からお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

提出された議案

議案番号	件名	議決状況
選挙 3	議長の選挙	5・15 選挙
選挙 4	副議長の選挙	5・15 選挙
選任 1	常任委員会の委員の選任	5・15 選任
選任 2	議会運営委員会の委員の選任	5・15 選任
選挙 5	東部知多衛生組合議会の議員の選挙	5・15 選挙
選挙 6	愛知中部水道企業団議会の議員の選挙	5・15 選挙
選挙 7	愛知県競馬組合議会の議員の選挙	5・15 選挙
報告 3	平成26年度豊明市一般会計予算の継続費に係る繰越報告	5・15 報告
報告 4	平成26年度豊明市一般会計予算の繰越明許費に係る繰越報告	5・15 報告
報告 5	平成26年度豊明市介護保険特別会計予算の繰越明許費に係る繰越報告	5・15 報告
報告 6	専決処分事項の報告(豊明市税条例等の一部改正)	5・15 報告
報告 7	専決処分事項の報告(豊明市都市計画税条例の一部改正)	5・15 報告
報告 8	専決処分事項の報告(豊明市国民健康保険税条例の一部改正)	5・15 報告
議案 39	財産の買入れ(小型はしご車)	5・15 可決
議案 40	豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置条例の制定	5・15 可決
議案 41	監査委員の選任	5・15 可決
意見書案 1	国民的合意のないままに安全保障法制の見直しを行わないよう求める意見書	5・15 可決
動議 1	議会の閉会中における議会運営委員会の継続調査	19

総務委員会

<定数 7 名>

委員長



藤江真理子
二村台4丁目
無所属・現 当2



後藤 学
杵掛町井ノ上
無所属・新 当1



近藤 善人
三崎町井ノ花
無所属・現 当2



蟹井 智行
二村台6丁目
無所属・新 当1



近藤 千鶴
新田町錦
公明党・現 当2



杉浦 光男
杵掛町宿
無所属・現 当3

副委員長



一色美智子
栄町南館
公明党・現 当3



三浦 桂司
阿野町出口
無所属・現 当3



近藤 郁子
杵掛町宿
無所属・現 当3



宮本 英彦
新田町広長
無所属・新 当1



毛受 明宏
阿野町稲葉
無所属・現 当3



村山 金敏
新田町村合
無所属・現 当5

副委員長

委員長

福祉文教委員会

<定数 7 名>

建設消防委員会

<定数 6 名>



近藤 裕英
杵掛町森浦
無所属・新 当1



清水 義昭
栄町南館
無所属・新 当1



月岡 修一
阿野町黒部
無所属・現 当6



郷右近 修
前後町五軒屋
日本共産党・新 当1



山盛左千江
新田町吉池
無所属・現 当5



富永 秀一
前後町仙人塚
無所属・新 当1



早川 直彦
間米町鶴根
無所属・現 当2

一般質問

個人質問

平成27年3月定例会月議会において13名の議員が市政について質問しました。その主な内容は次のとおりです。

《早川 直彦》

市長マニフェストの検証について

問 ①4年間のマニフェストの達成率は何%か。また、実施率は何%か。
②「財源をつくる」で得られた金額はいくらなのか。
③3大公約や6つの政策の柱の中で成果や課題は。
④マニフェストを確実に実行するためのシステムづくりが必要ではないか。

答 ①平成25年度で達成率が55・6%、実施率が84・4%であるが、26年度を入れると、実施率は約91%になると思う。
②市長マニフェストによる行革等の効果額が7億7000万円、市長マニフェストで実施する事業の影響額が3億1000万円となり、差し引き4億6000万円となる。③26年度に着手した主なものは、公共施設等の民間やNPOへの委託で、福祉体育館に指定

管理者制度を導入し、現在成果をはかるモニタリングを実施しており、その結果を精査し、さらなるサービスの向上に努めていきたい。また、職員の中小企業、商店、農家等での研修は、27年1月に星城大学へ2週間の職員派遣を実施した。27年度は、UR都市機構へ1年間の派遣を予定している。④マニフェストを市の政策として位置づけて進捗管理を行う必要があると考えている。

財源確保のためのふるさと納税について

問 ①豊明市へのふるさと納税の件数と額は。
②ふるさと納税のお礼として、特産品を実施する考えは。
③桶狭間古戦場まつりでの英傑行列に参加できる権利や、中京競馬場の特別席での観覧など、特別感を味わうことができるお礼を実施する考えは。



《川上 裕》

空き家対策（Ⅱ）

問 ①空き家の適正管理の状況を把握するため、パトロー

ル調査を行っているが、その実態内容の状況は。②空き家バンクの取り組みについてはどうか。③地域住民が安心・安全の面からも条例制定を強く要望しているので、27年度の条例制定に向けての計画と意思について聞く。

答 ①空き家と思われる建物数は59戸である。特に適正な管理が行われていない空き家等で、雑草の繁茂等の情報が寄せられた場合は、確認後、持ち主に適正な管理をお願いしている。②空き家データベースの整備が必要と認識しているため、空き家の所在等の調査を実施していく。③横断的なプロジェクト組織でデータの分析を実施し、政令・省令の進捗を踏まえながら、平成27年度中の条例化に向けて内容の検討等を進めていく。

豊明市障がい者福祉計画について

問 本市では、いきいきと暮らす福祉のまちをめざして障がい者福祉施策の充実が努められている。①生活支援・生活環境づくりとしてグループホームやショートステイの必要性

を豊明福祉会、どんぐり学園保護者会からも要望されているが計画はどうか。②「どんぐり学園」の療育の充実で、発達支援センターが必要と考えるがどうか。③障がい児者を持つ保護者同士のコミュニケーションの場が必要であると思うがどうか。

答 ①土地取得や資金面での問題により、具体的な計画は定まっていないが、広く民間事業者を含め、平成29年度までを一つの目標に、建設に向けて働きかけをしていきたい。②発達支援センターは大切な拠点であるが、新設すると公共施設の維持管理の問題も生じてくる。現在のどんぐり学園に、平成27年度より開始する専門スタッフによる相談事業を初め相談機能などの充実を図り、発達支援センターと同様の機能が果たせるようにしていきたい。③年1回の先輩保護者を囲むでの交流会を実施している。交流会を大切に育て、保護者同士のコミュニケーションや情報交換が活発に行われるよう促していきたい。

《近藤 善人》

総合教育会議について

問 ① 7 月を予定しているとのことですが、準備は進んでいますか。②総合教育会議の事務局は、市長部局か教委事務局かどちらにおられますか。③会議の役割は教育行政の大綱を決めることですが、話し合いは行われていますか。④会議は、年何回開催しますか。⑤メンバー構成は。⑥会議の議事録を公表することが義務づけられましたかどのような形で公表しますか。

答 ① 7 月には開催できるように事務を進めている。②首長が会議を設け招集することとなっており、市長部局で行うことが適正と考えている。③策定の際は、教育行政に混乱が生じないように首長と教育委員会で十分協議していく。④回数は首長と教育委員会で決めていく。⑤首長と教育委員会の委員 5 名の計 6 名で構成される。⑥会議は原則公開とされ、議事録も公開の予定であるが、方法については、調査研究している。

いじめ・不登校について

問 『いじめについて』①教育委員会として学校への指導は。②教育委員のいじめを容認するような発言について。『不登校について』③不登校が減少していないことについて教育長の考えは。④フレンドひまわりへの入級生が少ないことについて。⑤不登校児童生徒の家庭とのかかわりについて。⑥熊本県山鹿市での取り組みについて（校務改革、子どもとかかわる時間の確保などについて）。

答 ① いじめはどの学校でも起こり得るものという共通認識を持ち、いじめ防止、早期発見、早期対応を全校体制で行うよう指導をしてきた。②いじめがゼロだということに安心するのではなく、常日ごろから注意しなさいという意味合いの発言で、容認しているということは全くない。③小・中学校ともに前年同月よりふえており、大変厳しい状況と認識している。④規模的に今が精一杯かと考えている。⑤状況により 1 日目から訪問が必要な場合もあり、ケース



を見ながら対応したい。⑥本市も類したことは実施しており、子どもと向き合うために朝の打ち合わせを帰りに変更する等している。

《近藤 恵子》

災害時の避難所運営について

問 ①地域防災計画には新たに要配慮者・在宅避難者や女性に対する支援が示された。これらを市が策定する避難所運営マニュアルにどう反映させるのか。またその内容を区や自主防災会と共有するのか。②内閣府が示す「地区防災計画制度」。これによると今後は個々の避難所の運営マニュアルを考えていく必要も出てくる。今後の取り組みは。

答 ① マニュアルをつくる際

には、在宅避難者への支援など考えていきたい。周知については、これからホームページや訓練を通じて知らせていく。また、避難所には自主防災組織の理事も集まっており、そこでサポートしていただくことになると思う。②避難所ごとの運営マニュアルは有効と思うが、まずは基本的な部分の必要性をしっかりと覚えていただき、市全体の運営マニュアルをつくるのが大切と思う。

地方版総合戦略策定に向けて

問 ①策定には国からのビッグデータから地域経済を読み取るなど専門性が求められる。市ではどこが担当するのか。②他市では「自治体シンクタンク」や、有志若手職員による「政策推進研究室」を設けている事例がある。豊明市でも職員の政策提案能力を高める取り組みが必要ではないか。③地方版総合戦略と策定中の第 5 次総合計画との整合性はどうか。また、事業の評価の方法はどのようなのか。



問 ① データ分析などは現在企画政策課で行っている。ただ、人数や組織的なことで特化しているわけではないため、分析が足りないということはあると思う。②データを分析するスキルを身につけることは非常に重要だと思う。日ごろの仕事の中で、政策を提案するときに分析し、ロジックをつくり、政策に結びつけることを繰り返し行っていく。③総合計画に若い人たちが市内で遊ぶ場所や働く場所があり、市が潤っていることや子どもを産み育てやすいまち、子どもの数がふえていることは市民の望む「目指すまちの姿」であり、これはまち・ひと・しごと創生法の方向性と一致していると思う。

《藤江 真理子》

豊明団地における地域包括ケアづくりに期待すること

問 ①本市と藤田保健衛生大及び都市再生機構（UR）との連携で豊明団地における地域包括ケアづくりが始まっている。課題は。②地域介護予防活動支援交付金の支給条件と金額は。③高齢者ボランティアポイント制度で現在交換している商品券を市内限定使用に変更しては。④貯めたポイントを応援したい市民活動団体などに寄附できる選択肢を設けては。⑤介護・子育て・地域防災など地域課題を住民主体で解決していくためにも市民提案型まちづくり事業の充実拡大を。⑥URは割安な家賃で学生入居など多世代がイキイキと暮らし続けられるまちづくりを目指し、豊明団地を地域医療福祉拠点に位置づけている。公民連携強化で、住民力を最大限引き出せるまちづくりモデルとして同団地での取り組みに期待する。市の考えは。

答 ① 周囲とのかかわりを避けたがる高齢者の支援、身近

な生活支援を必要とする意見の多さ、活気や楽しみのある団地に、といった意見等、高齢者分野だけでは解決できない課題が明らかになってきた。

② 1 回 1 時間程度、月 1 回以上を実施し、利用対象者は、65 歳以上の高齢者を含むこと。サロンの立ち上げ時に社会拠点整備費が 1 万円、運営費として 2 万円の計 3 万円を交付する。次年度以降は 3 年目まで運営費を 100%、4 年目以降は 50%と考えている。③今後ボランティアポイント制度が多くの方に利用され、商品券がたくさん出回るような状況になれば市からも協力を強く依頼していきたい。④いろんな事業への寄附や介護保険料に充てるなど、今後多様な使途、目的とした活用について検討していきたい。⑤同じような団体が制度を利用していたので、立ち上げに助成するような形に制度を変えた。また、学生も地域と一緒に活動するようなコースも設けていければと思う。⑥高齢者だけでなく、若者や親子世代にも魅力ある、住んでもらいたい地域、いわゆるミクスストコミュニティの考え

方をぶれることなく取り組んでいきたい。



《山盛 左千江》

新年度予算と将来設計について

問 ①新年度予算とこれまでの相違点は。②市長選後、4 ～ 5 億円を肉づけ予算とするようだが、その財源は確保されているのか。③「市民の生活を守る」「市民負担の軽減」は続けるのか。④このままだと平成 39 年には赤字に転落すると聞くが、どういうことか。⑤赤字に転落しないために、行政は何をするのか。⑥総合計画の目標人口は。

答 ① 平成 27 年度は骨格予算としており、新たな視点のものは、6 月の補正予算に出していく。②国や県の補助金を差し引いた分は財政調整基金から繰り入れて、補正に備えると思われる。③市民生活を守るという視点は基本的に継続するが、具体的にどうするかは 6 月補正になると思っている。④高齢化による扶助費の増加、少子化による生産年齢人口の低下により、人件費等を縮小しても、何もしなければ 12 年後に収支がゼロになる。⑤現在、総合計画や都市マスタープランも策定しており、市街化区域を若干ふやし、前後駅周辺を活性化させ、企業誘致等、市民が市外に出て行かない、市外から人が来るような施策や公共施設の管理コストの削減等を考えている。⑥公式な会議等での議論はまだであるが、7 万人ぐらいにはしたい。

自治体の財政的自立と地域自治力の再構築をめざして

問 行政努力だけでは維持できず、市民共働は不可欠。



①先進地である朝来市を参考に「地域自治協議会」の仕組みを検討してはどうか。②17 年前、先駆的だった「市民活動室」だが、今では近隣に追い越された。その理由は。③総合計画の地区別計画や役割分担値と地域の課題解消は一体化されているのか。

答 ① 仕組み、枠組み、人材拠点等を含め、どの程度取り入れていけるかはこれからの課題である。②市民活動室の運営を活動団体の協議会に任せっきりにしてきた部分があったと感じている。③行政が規制緩和をし、住民が地域の中で役割分担する仕組みをつくるべきかと地域での話し合いで思った。

《杉浦 光男》

新年度予算において市史と文化財への取組みの重視、強化を求める

問 豊明市史編さん事業は資料編、本文編、総集編等、計8巻が完成している。豊明の歴史や自然を後世に伝える大事業であり、その文化的価値も大きい。豊明は明治時代から平成の今日まで自然、人口生活の様式など大きく変貌している。豊明には国指定、市指定など文化財といわれるものも数多い。今こそ、市民、行政が豊明の歴史や文化に目を向け、これらの意義を確認し共通の認識を持ちたい。そこで次のことを伺いたい。

① 歴史的民俗資料調査、収集について、今、収集し保存することの重要性和課題。

② 市史編さんと文化財保護の現状と課題。

③ 文化財は観光資源ともなる。文化財の活用は豊明の活性化の大きな力でもあると考える意義を問う。

答 ① 歴史民俗の調査研究と昔からの風俗、習慣や歴史的文化財の保存、収集を行うことは、郷土の誇りと愛着心を

呼び起こすために必要かつ重要なだと認識している。資料等の収集は寄附等により随時行っており、高価な物は買い入れも必要と思うが、収蔵品の増加による保管場所の不足と文化財の重要度の精査、判別、整理のために歴史民俗の高度な知識を持った人材の確保が課題である。② 現在は、市史の編さんは行っていないため編さん委員及び編集員の委嘱はしていないが、市制50周年の節目に記念誌の発行を検討していききたい。文化財保護の経費は文化財の所有者等に対して補助金を交付しているが、国や県の文化財は改修等に許可が必要となる。文化財の指定は所有者の財産にも関与する問題であり、市史の編さんも文化財保護も専門知識を有する人材の確保が課題である。

③ 文化財の調査研究、保護、活用は重要であり、鎌倉街道については研究してわかってくれば看板設置を検討していく。収蔵品の民具等は学校の子どもたちや一般の方への貸し出しを前向きに考えたい。また、観光協会と連携しながら、市全体の観光資源を有効活用できるよう今後も方法を



《近藤 千鶴》

豊明市地域防災計画について

問 東日本大震災からまもなく4年がたとうとしており、いつ起こるか予測の難しい大規模災害に備えるため、行政は市民の命を守る防災対策の強化に全力で取り組まなければなりません。そこで伺います。① 豊明市地域防災計画の改定の経過について。② 豊明市地域防災計画の今後の予定。

答 ① 策定に当たって、パルトごとに担当課が参画して案

を出し、防災関係機関等へ意見照会を行った。市内医療機関で拠点救護所の開設、想定避難者の増加による備蓄目標の変更等、4回の地域防災計画検討委員会にて議論を重ねた。1月21日から1カ月間パブリックコメントを行い、3月2日に地域防災対策推進会議を行い、3月9日に防災会議に諮って承認されれば、新年度より運用していく。

② 改定に伴い、非常配備体制を変更し、非常時の職員参集訓練、初動対応訓練を行っていききたい。また、安否照会には御嶽山の噴火があった大滝村の手順などを参考にしたい。

代読・代筆支援の充実について

問 高齢化の進展に伴い、視覚障がい者の方のみならず視力が低下した高齢者の方などに必要となるのが代読・代筆の「読み書き支援」の充実です。本市において、プライバシーを確保できる専門の支援員の養成に取り組むなど、代読・代筆支援を必要とする人のニーズに応じて受けられる仕組みづくりを推進する取り



組みが必要と考えます。そこで本市の考えをお伺いいたします。

答 障害者総合支援法によるサービスの同行支援で状況に応じて代読・代筆を実施している。居宅介護、ホームヘルプの中でも支援を受けられ、社協の生活援助員の派遣サービスやシルバー人材センターのワンコインサービスでニーズに対応できていると考える。しかし、ボランティアによる事業拡大は支援者の責任範囲や利用者の権利擁護等整理すべき課題も多く、代筆・代読の支援員の養成についても、近隣自治体の動向や障がい者のニーズを把握しながら研究していききたい。

《前山 美恵子》

子どもの医療費無料制度を18歳未満まで拡大を求める

問 子どもの貧困が問題視され、医療費無料化の対象外の年齢の子どもに経済的理由での治療の中断事例がある。中卒になると3割負担の医療費は大きな負担であり、せめて高卒まで無料にすべきではないか。

答 医療費無料化は医療負担の軽減や重症化を防ぐ早期受診を促す意味で有効だが、年間4000万円程度の財源が必要であり、必要以上の通院の誘発や医療費の増加が懸念されるため、費用面や効果を今後研究していきたい。なお、母子家庭については18歳まで医療費が無料化されている。

社会保障としての国民健康保険制度にするために

問 ① 国の示す国保制度の改革案は広域化であり、この狙いは国保税の引き上げ、収納率の向上、医療費の適正化が明記されている。これが市民

のためになるのか問う。② 低所得者対策として、国保税の減免制度と一部負担金の拡充を。

答 ① 広域化で、不安定な財政運営や慢性的な赤字体質の改善、保険料の均一化、給付の格差の是正が期待できるが、分賦金が相対的に高くなると予想され、保険料は若干上がると思う。② 一部負担金の減免制度は標準的な水準であり、国保税の低所得者軽減適用後の税額は他市町村に比べ低い。ため、これ以上の低減措置は考えていない。

高齢者の立場に立った介護保険を求めて

問 ① 次期介護保険料は年1万円以上の引き上げ。引き上げを抑えるため一般会計からの繰り入れを求める。また、低所得者対策を講じること。② 要介護認定者に障がい者控除認定書を個別に送付すること。

答 ① 高齢者と若い方との公平性が失われることや保険料減免のための繰り入れは行うべきではないという国の原則から法定割合を超える繰り入

《毛受 明宏》

豊明市の小規模企業振興②



れは考えていない。また、第1～3段階までの方は、国の基準よりも低い負担割合となっている。② サービスを受けたい人へ申請書と給付通知書を送付している。認定者に対しての送付は今後検討していく。

問 昨年、国の小規模企業振興基本法の制定以来、中小企業庁より小規模事業者支援策、持続化創業促進の政策が打たれ、市内の事業者もその政策に目をつけ新たな事業展開に結びつけようとする事を確認します。国や県の支援策等を見ながら市内の事業者にはサポートを当てた小規模事業者支援策が必要と思いますが、その考えをお聞きます。

答 国も中小企業、小規模事

豊明駅を拠点としたまちづくり

問 過去、当市にはこの駅から始まる賑わいを感じた時代もありました。そして現在では、豊明駅の南には日本でも有数の花き市場がありますが、いま一つ活気につながるポイントが薄く、せつかくの名鉄



本線が通る環境を持ち合わせながら、生かされていくと感じられます。そこで今回は、豊明駅の元々の正面玄関の北口周辺についての考えを質問いたします。

答 第5次総合計画並びに第3次都市マスタープランの計画策定に際しては、コンパクトで利便性が高く、安全性の高いまちづくりを心がけている。そのために、豊明駅周辺における近隣商業地域に、医療、福祉、子育て、商業などの都市機能を誘致し、阿野地区を中心とした駅周辺の住民の生活環境を向上させ、安心して歩いて暮らせるような方策を研究する必要があると考えている。

《近藤 郁子》

今までの質問の中より再度質問

問 ①ふるさと納税について。豊明市の全国発信を踏まえぜひとも取り組んでいただきたいと提案してきた。その後、国も地方創生の一環として、積極的に取り組んでいるが市としては今後どのように取り組んでいくのか。②市役所駐車場の広告塔について。文字が消えた当初よりそのままになっていることを危惧する市民の声に答えられないまま置かれているが広告塔の今後について。③中学生の海外派遣事業について。事業仕分けによって、形を変えることになった中学生の海外派遣事業の今後について、平成27年度からどのように変更されるのか。答 ①寄附金控除額の拡大やまち・ひと・しごと創生総合戦略におけるふるさと納税の推奨などもあり、豊明市にある特徴的で魅力的かつ制度の趣旨から逸脱しないおもてなしとして何ができるか考え、現状より積極的に展開したい。活性化のために新たな特産物をつくることやナガバノイシ

《平野 敬祐》

平成27年度予算案について、市長マニフェストについて

問 財政調整基金の目標額は、公共施設整備基金の今後の計画、目標は。桜ヶ丘沓掛線の工事が本格化するが、完成後の交通状況などの把握と対策は。市長マニフェストの達成度について、市長自身の採点は。重点項目等の実施について、自己評価は。答 財政調整基金は、標準財政規模の5%である6億5000万円を下回らないように注視している。公共施設の建設及び整備基金は、少しでも多く貯めていきたい。桜ヶ丘沓掛線的主要交差点8カ所の24時間の交通量調査を考慮しており、どれだけの整備、対策が必要か検証していく。市長マニフェストの3つの重点施策の点数配分について、優先順位の高いものを3つに絞り込んだ。例えば、市民税10%が市民負担の軽減の全てではなく、その中の1項目である。点数配分でどうかと言われるが、それは平等に扱うべきか

豊明市の観光について

問 桶狭間観光ボランティアの活動はどのような状況か。市内の散策プランと整備において、案内看板等の充実を図るべき。有松では公園などの整備が進み、本市の国指定の桶狭間古戦場伝説地が後れをとっている。さらなるPRが必要では。答 平成22年度に地元の住民を中心とした豊明桶狭間ガイドボランティアが発足し、桶狭間の戦いに関連する史跡を中心に観光ガイドを行っている。観光宣伝活動に関連するハード、ソフトの整備の両面について研究していきたい。

豊明市の市民力、ボランティアの力について

問 市民のまちへの強い思いや協力活動は他市町に負けない力強い応援団であり、大切な財産と実感している。現況のボランティア活動の実例と市が望む活動は。答 大原公園を守る会を地元の有志の方でつくっていた。公園の草刈りに協力していただけている話の中で



ていただけるとよい。

《三浦 桂司》

安心・安全のまちづくりについて

問 ①耐震シェルターの申し込みが一軒もないが。②自主防犯団体への支援は。③AEDを市内コンビニに設置するという進捗状況は。④災害時要援護者名簿を普及させるには。答 ①25年度より補助制度を設けた。今後もPRを続けた。②パトロール時のベスト、帽子、反射材つきたすきなどの資材提供や青色回転灯つき公用車をパトロール用に貸し

出ししている。③効果的な配置を研究するため、AEDを設置している公共施設とコンビニの位置を確認する作業に入っているが、財政面を含めた内部の意思統一はできていない。④情報提供に同意されている方の名簿を各区長に提供しており、地域において要援護者の支援者等を定めていただく個別支援計画の作成をお願いしている。

平等な教育促進を進めるには

問 ①少人数学級・特別支援学級の強化は。②スクールソーシャルワーカーの設置については。③学校統廃合の方向性について。答 ①県の基準に従って、35人学級を編成している。拡大については、国、県に要望していく。特別支援教育支援員を3名増員し、34名配置している。②4名のスクールカウンセラーを配置している。スクールソーシャルワーカーの重要性も承知しており、検討していきたい。③平成24年11月に学校適正規模検討委員会から、当面通学区域の見直し

税収アップ政策について

や統廃合を行わない提言書をいただいている。アセットマネジメントの状況により、必要があれば、統廃合することになるうと思っている。

問 ①対策委員会などの設置の考えは。②市内商店の活性化をどう考えているのか。答 ①具体的な検討組織は今の段階で答えることは難しいが、生産年齢人口の減少を少しでも抑え、法人も含め納税義務者が増加する施策を実施していきたい。②関係省庁の小規模事業者に対する支援施策の情報の把握と情報発信に努め、引き続き商工会と連携を図りながら地域商店の活性化に取り組んでいきたい。



議案等の審議結果

議案等の審議結果															
議案等番号															
議 員 名															
件 名															
意見書案1															
国民的合意のないままに安全保障法制の見直しを行わないよう求める意見書															
○：賛成 ×：反対															
新風とよあけ															
後藤 学															
富永 秀一															
清水 義昭															
宮本 英彦															
藤江 真理子															
近藤 善人															
杉浦 光男															
毛受 明宏															
三浦 桂司															
月岡 修一															
近藤 千鶴															
一色 美智子															
早川 直彦															
山盛 左千江															
近藤 裕英															
蟹井 智行															
郷 右近修															
村山 金敏															

・・・6月定例月議会の開催日程(予定)・・・

6月 4日 (木)	本会議 (議案上程・提案説明)	6月18日 (木)	総務委員会
6月 8日 (月)	本会議 (一般質問)	6月19日 (金)	福祉文教委員会
6月11日 (木)	本会議 (一般質問)	6月22日 (月)	建設消防委員会
6月12日 (金)	本会議 (一般質問)	6月29日 (月)	本会議 (委員長報告・討論・採決)
6月16日 (火)	本会議 (議案質疑・委員会付託)		

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。電話 0562-92-1121

改選後の初議会



議 会 の 構 成

◎ 委員長 ○ 副委員長

議 長		月 岡 修 一		副議長		杉 浦 光 男	
議会運営委員会		◎ 近 藤 郁 子 清 水 義 昭 藤 江 真理子		○ 早 川 直 彦 富 永 秀 一 三 浦 桂 司		近 藤 裕 英 一 色 美智子	
常 任 委 員 会	総 務	◎ 藤 江 真理子 清 水 義 昭 三 浦 桂 司		○ 一 色 美智子 近 藤 裕 英 月 岡 修 一		後 藤 学	
	福 祉 文 教	◎ 近 藤 善 人 郷右近 修 宮 本 英 彦		○ 近 藤 郁 子 鵜 飼 貞 雄 山 盛 左千江		蟹 井 智 行	
	建 設 消 防	◎ 近 藤 千 鶴 富 永 秀 一 杉 浦 光 男		○ 毛 受 明 宏 早 川 直 彦 村 山 金 敏			
監査委員（議会選出）				愛知県競馬組合議会議員（豊明市選出）			
山 盛 左千江				蟹 井 智 行 近 藤 善 人			
東部知多衛生組合議会議員（豊明市選出）				国民健康保険運営協議会委員（議会選出）			
富 永 秀 一 早 川 直 彦 月 岡 修 一				近 藤 善 人 近 藤 郁 子			
愛知中部水道企業団議会議員（豊明市選出）				都市計画審議会委員（議会選出）			
鵜 飼 貞 雄 宮 本 英 彦 藤 江 真理子				郷右近 修 清 水 義 昭 近 藤 裕 英 近 藤 千 鶴			